

地域と協働! ~咲かそう絆花~目指せ片 「笑顔・元気・一生懸命!」

奈良県大和高田市

活動名

片塩中コミュニティ

関係する学校

大和高田市立片塩中学校

活動区分	※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
土曜日の教育活動				
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	50人	21年度	無
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数

活動の概要

平成4年度に、父親が学校に協力できるようにと「健全育成会」が発足している。今までに、学校見学会や環境整備などを行ってきた。そして、平成21年度、学校支援地域本部事業に取り組んだ。その活動は、教師・会員の父親・地域ボランティア・退職教師・生徒・そしてPTAをも巻き込んだものへと発展している。魅力ある学校づくりを目指しながら深化を図り、学校教育力と地域力の双方向の発展を目指している。

☆学校行事

○片塩フェスタ(小学校6年生対象オープンスクール) ○片塩わくワーク(ゲストティーチャーから学ぶ) キャリア教育・救急救命士・パン製造業・保育士・大工・アニメ声優・自動車整備士・看護師・アートディレクター・美容師・日本料理板前・スポーツインストラクター ○職場体験

☆環境整備

○図書室環境整備 ○校内清掃(草引き、体育館の掃除等)

☆学習支援活動

○マナー講習会(社会人としての挨拶・身なり・言葉遣い)
○漢字検定(対策)年3回大和高田市土曜塾とのコラボレーション
○特別支援学級への支援

特徴

【特徴的な活動内容】

- 学校支援体制の組織力の強さ「健全育成会」「おやじの会」「ボランティアグループ」
- 学校力と地域力の合力による教育活動推進(ボランティア清掃活動)
- 教職員・OB・地域ボランティア・退職教師・生徒による協働活動が年間を通して活発である。
- 校区内のボランティアのみにとどまらず、教育委員会ボランティア(玄関・職員室横廊下<生け花>)の支援も得ている。
- 教育資源である地域人材(ゲストティーチャー・職場体験・マナー講習会等)の発掘・蓄積がうまく進み、教育活動に効果的にフィードバックできている。

【実施に当たっての工夫】

- 「片塩フェスタ」は、午前は、授業体験。昼食に教職員・PTA・地域ボランティア・生徒の協働で作ったカレー(260人分)を提供。午後は、授業体験・部活動体験が行われた。小学生は、片塩中学校の雰囲気を感じ、親近感を持つようになった。
- 環境整備では、コーディネーターを中心に、PTA・地域ボランティア・健全育成会・生徒・教職員が協働し、年間を通して美化活動を行っている。(片中美化ピカ事業、植えるカム事業)その後は、流しそうめんやあったかにゆうめんを作り、食して互いのコミュニケーションを深め合っている。また、教育委員会ボランティア(運営委員会事務局登録)による玄関や職員室横の生け花の協力を得ている。
- マナー講習会では、職場体験学習(2年生)に取り組むに当たり、社会人としてのマナーを事前学習として取り組んだ。和やかな中にも人としての厳しさのある指導を展開していただいた。マナーに対して関心が深まり、挨拶に対してモチベーションが高まった。
- 職場体験は、地域の65事業所において実施している。
- 漢字検定は、年3回、生涯学習課担当の大和高田市土曜塾とコラボレーションしている。小学生・中学生・地域の人が共に受験することで、検定の必要性和モチベーションが高まった。
- 環境整備において、コーディネーターが中心となりボランティアや生徒たちと一緒に活動して作ったアイデアいっぱいの池や花壇等、心が癒される生活空間を醸し出している。おかげさまでフリータイムには、コミュニケーションや和みの場として活躍している。



中庭花壇への植付け

作業後の流しそうめん



片塩フェスタ
(授業体験・理科)

片塩フェスタ
(部活動体験・吹奏楽部)



マナー教室

放課後学習(漢字検定)

事業を実施して

- 校舎が建って40年。校舎や周辺的环境が大変美しくなった。事業を受ける前は、校舎周辺に花の姿はなかったが、今は、年間を通して、花が綺麗に咲き誇っている。生徒だけでなく、校舎の近くを通る方からもとても喜んでいただいている。生徒と地域の人が、花についての共通の話題ができ、コミュニケーションが活発になった。
- 事業において、地域ボランティアや卒業生、かつて片塩中学校に勤務された先生方も参加するなど年々広がりや深まりを見せている。
- 漢字検定の実施においては、基礎学力の充実のために希望者が放課後や夏休みに漢字練習に取り組んでいる。参加する生徒は、年々増加している。さらに、校区内の小学生や保護者の受検も呼びかけている。検定の必要性和モチベーションが高まった。
- 職場体験は、いかに体験事業所を確保するかが課題であった。かつて、大和高田市は「商都」であり、賑わいは薄れているものの、多くの個人商店が軒を連ねる商店街が残っている。「健全育成会」等から情報を得た校長自らが商店街の会長に依頼し、2年生267名が体験する65事業所を確保することができた。教職員・生徒が地域の人・物と密接に結びついた貴重な体験を味わうことができた。
- 地域ボランティアの人々の活動に感謝しながら、生徒たちも地域に出向き、活動するようになってきている。生徒たちにボランティア精神が芽生えてきたと同時に、行動につながるようになってきた。